



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月5日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東
コード番号 4044 URL <https://www.cgco.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 前田 一彦
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 矢儀 信之 TEL 03-3259-7062
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|---------|-------|--------|-------|--------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 120,869 | △3.4 | 10,558 | △15.5 | 10,871 | △26.7 | 9,300 | △57.2 |
| 2023年3月期第3四半期 | 125,096 | △17.6 | 12,497 | 211.0 | 14,831 | 111.0 | 21,737 | 414.3 |

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 12,723百万円 (△33.1%) 2023年3月期第3四半期 19,009百万円 (161.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | 375.34 | - |
| 2023年3月期第3四半期 | 570.57 | - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 226,955 | 116,760 | 49.3 |
| 2023年3月期 | 221,090 | 107,861 | 46.8 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 111,831百万円 2023年3月期 103,483百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | - | 37.50 | - | 77.50 | 115.00 |
| 2024年3月期 | - | 57.50 | - | - | - |
| 2024年3月期（予想） | - | - | - | 57.50 | 115.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|--------|-------|--------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 161,500 | △4.6 | 11,000 | △34.4 | 12,000 | △38.9 | 10,000 | △76.5 | 403.55 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社 （社名） セントラル硝子プロダクツ株式会社、 除外 —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年3月期3Q | 26,000,000株 | 2023年3月期 | 42,975,995株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期3Q | 1,219,834株 | 2023年3月期 | 18,195,767株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年3月期3Q | 24,780,140株 | 2023年3月期3Q | 38,097,797株 |

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員及び従業員向け株式交付信託口が保有する自己株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、地政学的な要因や為替相場の影響により、輸入資材を中心に物価上昇が続きましたが、政府の経済対策による下支えもあり、企業収益の改善や個人消費にも持ち直しが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

一方、世界経済は、欧米各国の金融引き締め影響、不動産不況に伴う中国経済の減速、長期化するロシアのウクライナ侵攻や中東での武力衝突など、先行きは非常に不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は120,869百万円と、前年同期比3.4%の減少となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりましたが、経常利益は前年同期比3,959百万円減少の10,871百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比12,436百万円減少の9,300百万円となりました。

セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、建築需要は前年同期を若干下回る状況で推移しましたが、前年度に実施しました製品価格改定の浸透により、売上高は前年同期を上回りました。

自動車用ガラスにつきましては、前年同期は上海のロックダウンや半導体の不足などによる部品供給の問題で各自動車メーカーの生産調整の影響が残っていましたが、当期は自動車生産台数の回復、及び原燃材料価格の高騰に対応し、製品価格改定を継続して実施してきましたことから、売上高は前年同期を上回りました。

ガラス繊維につきましては、電材分野は需要が減少したものの、自動車分野における生産台数の回復により、売上高は前年同期を上回りました。

以上、ガラス事業の売上高は45,182百万円（前年同期比12.4%増）となり、損益につきましては2,163百万円の営業利益（前年同期比400百万円の増加）となりました。

(化成品事業)

素材化学品につきましては、ハイドロフルオロオレフィン製品が、主要国の住宅着工件数の低迷等から発泡剤原料の販売が落ち込んだことに加え、農薬関連製品が前年度末の前倒し出荷の反動により販売が減少し、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

医療化学品につきましては、医薬関連製品の出荷が低調に推移し、また在外連結子会社の売上も低調に推移したため、売上高は前年同期を下回りました。

電子材料につきましては、世界的な半導体の需要低迷に底打ちが見られるものの、メモリー大手の減産などの影響により、半導体向け特殊ガス製品、レジスト材料ともに販売が減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

エネルギー材料につきましては、中国、欧州におけるEV市場の成長鈍化と競合の激化により、リチウムイオン電池用電解液製品の販売は減少したものの、為替影響も有り、売上高は前年同期を上回りました。

肥料につきましては、流通在庫の荷動きの鈍化や、6月・11月の価格値下げによる買い控えの影響から、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

以上、化成品事業の売上高は75,687百万円（前年同期比10.8%減）となり、損益につきましては8,394百万円の営業利益（前年同期比2,338百万円の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、減価償却などにより有形固定資産が2,026百万円減少する一方、現金及び預金が8,291百万円、棚卸資産が2,035百万円増加したことなどにより、5,865百万円増加し226,955百万円となりました。

負債は仕入債務が2,919百万円減少したことなどにより、3,033百万円減少し110,194百万円となりました。

純資産は親会社株主に帰属する四半期純利益を9,300百万円計上したことなどにより、8,898百万円増加し116,760百万円となりました。また、自己資本比率は2.5%増加し49.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績を踏まえ、通期の業績を想定した前提条件により予想しました結果、2023年11月6日に公表いたしました通期の業績予想からは修正すべき大幅な乖離がないため、通期の業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 17,844 | 26,135 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 42,978 | 42,181 |
| 商品及び製品 | 27,977 | 29,961 |
| 仕掛品 | 2,495 | 2,516 |
| 原材料及び貯蔵品 | 19,314 | 19,343 |
| その他 | 4,608 | 3,981 |
| 貸倒引当金 | △116 | △118 |
| 流動資産合計 | 115,101 | 124,002 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 20,185 | 19,891 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 23,056 | 21,383 |
| 土地 | 20,693 | 20,543 |
| 建設仮勘定 | 2,195 | 2,064 |
| その他（純額） | 3,768 | 3,989 |
| 有形固定資産合計 | 69,898 | 67,872 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 980 | 861 |
| 無形固定資産合計 | 980 | 861 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 23,696 | 22,621 |
| その他 | 11,546 | 11,725 |
| 貸倒引当金 | △133 | △127 |
| 投資その他の資産合計 | 35,109 | 34,218 |
| 固定資産合計 | 105,989 | 102,953 |
| 資産合計 | 221,090 | 226,955 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 21,681 | 18,762 |
| 短期借入金 | 10,759 | 8,823 |
| 1年内償還予定の社債 | 10,000 | 10,000 |
| 未払法人税等 | 814 | 1,602 |
| 契約負債 | 916 | 1,009 |
| 賞与引当金 | 1,242 | 390 |
| 事業構造改善引当金 | 445 | 105 |
| その他 | 15,213 | 17,599 |
| 流動負債合計 | 61,073 | 58,291 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 18,000 | 23,000 |
| 長期借入金 | 26,334 | 20,623 |
| 特別修繕引当金 | 1,676 | 1,957 |
| 役員株式給付引当金 | — | 23 |
| 従業員株式給付引当金 | — | 130 |
| 退職給付に係る負債 | 5,571 | 5,552 |
| その他 | 572 | 614 |
| 固定負債合計 | 52,155 | 51,903 |
| 負債合計 | 113,228 | 110,194 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 18,168 | 18,168 |
| 資本剰余金 | 8,109 | 8,109 |
| 利益剰余金 | 127,977 | 76,930 |
| 自己株式 | △60,781 | △3,829 |
| 株主資本合計 | 93,474 | 99,378 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,832 | 5,567 |
| 繰延ヘッジ損益 | 34 | 27 |
| 為替換算調整勘定 | 3,609 | 6,313 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 532 | 544 |
| その他の包括利益累計額合計 | 10,008 | 12,453 |
| 非支配株主持分 | 4,378 | 4,929 |
| 純資産合計 | 107,861 | 116,760 |
| 負債純資産合計 | 221,090 | 226,955 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 125,096 | 120,869 |
| 売上原価 | 93,162 | 89,563 |
| 売上総利益 | 31,934 | 31,306 |
| 販売費及び一般管理費 | 19,436 | 20,748 |
| 営業利益 | 12,497 | 10,558 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 188 | 118 |
| 受取配当金 | 616 | 613 |
| 持分法による投資利益 | 969 | — |
| 為替差益 | 1,007 | 133 |
| 受取ロイヤリティー | 757 | 629 |
| その他 | 940 | 521 |
| 営業外収益合計 | 4,479 | 2,016 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 221 | 266 |
| 持分法による投資損失 | — | 456 |
| その他 | 1,924 | 980 |
| 営業外費用合計 | 2,145 | 1,703 |
| 経常利益 | 14,831 | 10,871 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 3,059 | 59 |
| 投資有価証券売却益 | 8,747 | 1,897 |
| 事業譲渡益 | — | 70 |
| 特別利益合計 | 11,807 | 2,026 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 65 | 1 |
| 投資有価証券売却損 | 502 | — |
| 事業構造改善費用 | 1,864 | — |
| 関係会社清算損 | 0 | 115 |
| 特別損失合計 | 2,432 | 117 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 24,206 | 12,780 |
| 法人税等 | 1,718 | 2,759 |
| 四半期純利益 | 22,487 | 10,021 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 750 | 720 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 21,737 | 9,300 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 22,487 | 10,021 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △6,409 | △267 |
| 繰延ヘッジ損益 | △238 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | 2,366 | 2,366 |
| 退職給付に係る調整額 | △118 | 11 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 922 | 590 |
| その他の包括利益合計 | △3,478 | 2,702 |
| 四半期包括利益 | 19,009 | 12,723 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 17,955 | 11,752 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1,053 | 970 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、2023年5月26日に自己株式16,975,995株の消却を実施いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、利益剰余金および自己株式がそれぞれ56,774百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(役員向け株式交付信託)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会において、当社の取締役(社外取締役を除きます。以下も同様です。)および当社と委任契約を締結している執行役員(以下総称して「取締役等」といいます。)を対象とする株式報酬制度(以下「本制度」といいます。)を導入しております。

本制度は、取締役等の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にし、取締役等が株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的としております。

なお、本制度に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下「本信託」といいます。)が当社株式を取得し、当社が取締役等に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて取締役等に対して交付される、という株式報酬制度です。

なお、取締役等が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する自社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しています。当第3四半期連結会計期間末の当該自己株式の帳簿価額は367百万円、株式数は123,700株であります。

(従業員向け株式交付信託)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会において、従業員を対象とする株式報酬制度(以下「本制度」といいます。)を導入しております。

本制度は、従業員に対する福利厚生制度を拡充させるとともに、当社業績や株価への意識を高めることにより経営参画意識を持たせ、当社の中長期的な企業価値向上を図ることを目的としております。

なお、本制度に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)を適用しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下「本信託」といいます。)が当社株式を取得し、当社が従業員に対して、職位等に応じて付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて従業員に対して交付される、という株式報酬制度です。

なお、従業員が当社株式の交付を受ける時期は、原則として従業員の退職時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する自社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しています。当第3四半期連結会計期間末の当該自己株式の帳簿価額は1,046百万円、株式数は352,000株であります。

(セグメント情報等)

1 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------|---------|--------|---------|------------|-----------------------|
| | ガラス事業 | 化成品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 40,207 | 84,888 | 125,096 | — | 125,096 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 0 | 744 | 744 | △744 | — |
| 計 | 40,207 | 85,633 | 125,840 | △744 | 125,096 |
| セグメント利益(営業利益) | 1,763 | 10,733 | 12,497 | — | 12,497 |

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------|---------|--------|---------|------------|-----------------------|
| | ガラス事業 | 化成品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 45,182 | 75,687 | 120,869 | — | 120,869 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 29 | 932 | 961 | △961 | — |
| 計 | 45,211 | 76,619 | 121,831 | △961 | 120,869 |
| セグメント利益(営業利益) | 2,163 | 8,394 | 10,558 | — | 10,558 |

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。